電動ウインチ荷揚げ中、荷と交差筋交い手を挟む

挟まれ巻込まれー 1

災害発生時記録	発生月日 時	9月10日(月)13時 35分			工事内容	マンション外壁改修工事ーマンション外壁塗装3200m2	
	被災者	職種	塗装工	経験年	37	所属	元請 直営 〇1次会社 1人親方 請負外契約
	被災程度	外傷のみ。					

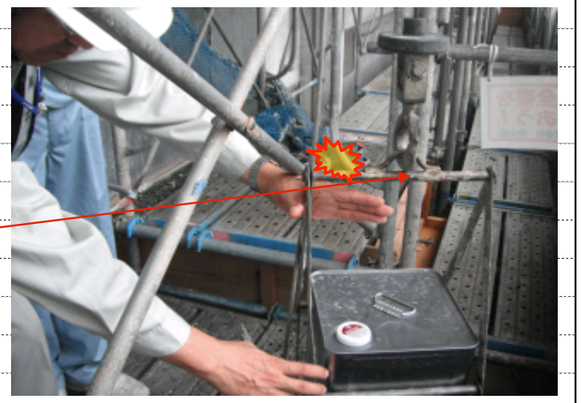
災害発生状況(写真)

被災者は電動ウインチを用いて外部足場上で資材等の荷揚げ作業をおこなっていた。 作業は2名で被災者の合図のもと地上の作業員がウインチの操作を担当していた。 被災者は荷揚げした塗料缶(16kg)を7階足場内へ取り込もうとしたが、荷の位置が高すぎて交差筋かいにぶつかるため巻き揚げ下げの合図を行ったところ操作者が聞き違えて巻き揚げ操作をしたため荷が上昇し、荷を挟んでいた手が交差筋かいと荷の間に挟まれたものである。

初期の対策状況含む事項(写真含)

左手の親指と人差指付け根が吊金具とブレスに挟まり、創傷(手表皮の挫傷と出血)で骨折や神経の損傷は無かった。

交差筋かいと荷にはさまり負傷



番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	合図者と操作者の距離が遠かったため正確に聞取れなかったこと。	〇			1 合図は無線を使用して行う。	合図に関しては、聞き違いや見間違いなどによる誤操作が原因で事故が起きるケースが多々ある。 距離が離れたり周囲の騒音が大きい場合は無線による確実な合図が望ましい。また、足場上への資材の取り込みは支障と成る下さんや交差筋交い等の墜落防止設備を取り外す場合が多いので安全帯の使用を徹底させること。
2	荷に手を掛けた状態でウインチの操作を指示したこと。		◎	〇	2 ウインチ作動中は荷に手を掛けないようKY活動時に確認する。	

調査記入時の注意点ーー① 所属欄は5項目の該当する項目に〇マークの記入 ②3要因(人的・物的・管理的)に関係・該当する要因に〇ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。(添付要因資料参照)